

公開シンポジウム

リスク社会における公共性の構造転換と社会関係資本

—計算社会科学からの挑戦—
(先導的人文学・社会科学研究推進事業)

2016年2月27日(土) 13:00~17:00
東京大学本郷キャンパス3号館31号室

開催趣旨：計算社会科学の視座から、重層的メディア環境におかれたリスク社会における公共性と社会関係資本の健全な形成の条件を明らかにする。

13:00~13:10 開会挨拶 上東 貴志 (神戸大学)

13:10~14:10 招待講演 Prof. Dirk Helbing (ETHZ)

14:10~14:40 基調講演 遠藤 薫 (学習院大学)

14:50~16:50 パネル討論

討論者：上東 貴志 (神戸大学)
鳥海 不二夫 (東京大学)
佐藤 嘉倫 (東北大学)
品田 裕 (神戸大学)
栗原 聡 (電気通信大学)
数土 直紀 (学習院大学)
貝原 俊也 (神戸大学)
榭 剛史 (東京大学)
司会：遠藤 薫 (学習院大学)

16:50~17:00 閉会挨拶 佐藤 嘉倫 (東北大学)

総合司会：鳥海 不二夫 (東京大学)

参加費：無料

問合せ先：東京大学鳥海研究室

協賛 (予定)：



Prof. Dirk Helbing

Helbing 博士はチューリッヒ工科大学の計算社会科学の教授。歩行者群や交通流のモデル、社会シミュレーションやビッグデータ分析など多彩な研究で知られる。プロジェクト FuturiCT も手がける。
www.coss.ethz.ch/people/helbing.htm